

NIPPON ANTENNA

取扱説明書
—保証書付—

地上デジタル放送対応
電源分離型ブースター

UHF増幅型 MODEL UPA16K

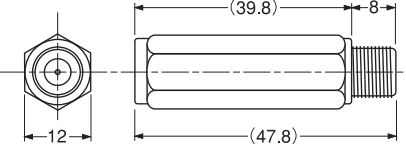
製造番号

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

外観および寸法図

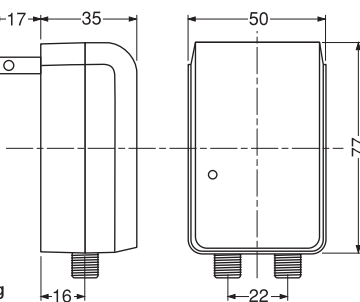
●増幅部

単位：mm
質量：20g



●電源部

単位：mm
質量：170g



●同梱品

防水キャップ……………1個
取扱説明書(保証書付)……………1部

特長

●増幅部

1. 低雑音設計

本品は低雑音設計の地上デジタル放送対応電源分離型ブースターです。

2. 地上デジタル放送のブロックノイズを解消

地デジアンテナに直接接続すると、地デジ信号の信号品質が低い場合に発生するブロックノイズ(モザイク状の雑音)の解消に効果があります。

3. 業界最小サイズ

業界最小サイズを実現しました。(2010年1月現在、当社調べ)

4. 低消費電力

低消費電力で環境にやさしいエコ設計です。

5. 簡単取付

レベル調整がいらないので地デジアンテナに取付けるだけで簡単にご使用できます。

6. シールド構造

増幅部はシールド構造となっていますので、電波の漏えいや飛込み防止に効果があります。

7. UHF帯域710MHz対応

710MHz以上で予定されているサービスの電波による影響を軽減できるフィルターを内蔵しています。

●電源部

1. 過電流保護回路を内蔵

電源部には電源部と増幅部間でショートなどの異常があった場合に電源部を保護する過電流保護回路が内蔵されています。

2. LEDで異常をお知らせ

電源部と増幅部間でショートなどの異常があった場合にパワーランプが消灯します。正常時は緑色のパワーランプが点灯します。

3. シールド構造

電源部内部はシールド構造となっていますので、電波の漏えいや飛込み防止に効果があります。

標準性能表

●増幅部

項目	型名	UPA16K
周波数帯域		UHF
受信チャンネル (ch)		13～52
利得 (dB)		14～18
適正入力レベル (dBμV)		40～75
定格出力レベル (dBμV)		93(9波)
雑音指数 (dB)		1.5
入力・出力インピーダンス (Ω)		75(F型)
電圧定波比		3以下
相互変調 [IM3] (dB)		－68以下(9波)
重量電源 (V/A)		DC15/0.03
消費電力 (W)		1.2
使用温度範囲 (℃)		－10～＋40 ※1

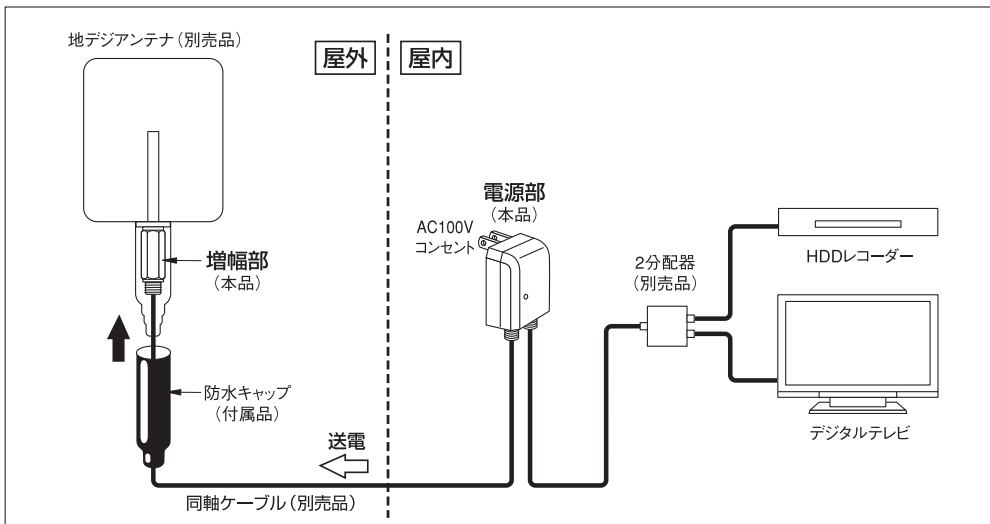
●電源部

項目	型名	UPS03
伝送チャンネル (ch)		FM・1～52
挿入損失 (dB)		1.0以下
電圧定波比		1.5以下
入力・出力インピーダンス (Ω)		75(F型)
電源電圧 (V)		AC100(50/60Hz)
消費電力 (W)		1.2
重量電源 (V/A)		DC15/最大0.03
使用温度範囲 (℃)		－10～＋40 ※1

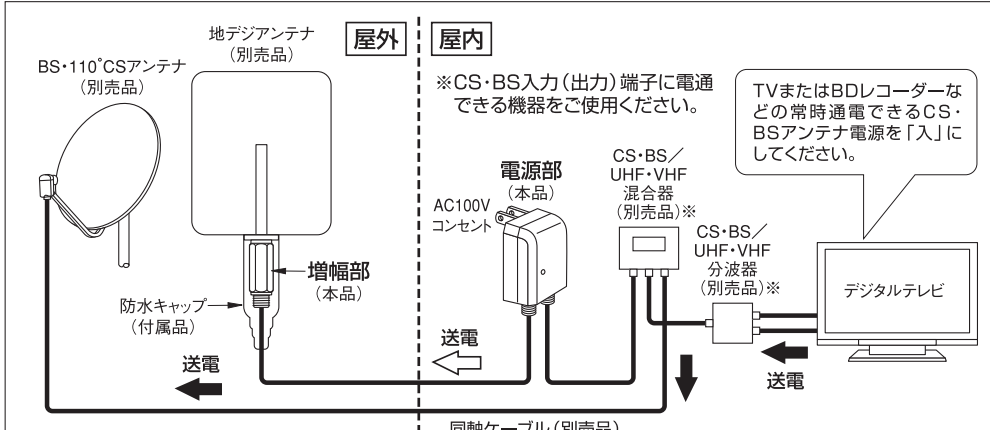
※1 本体周囲温度

設置方法

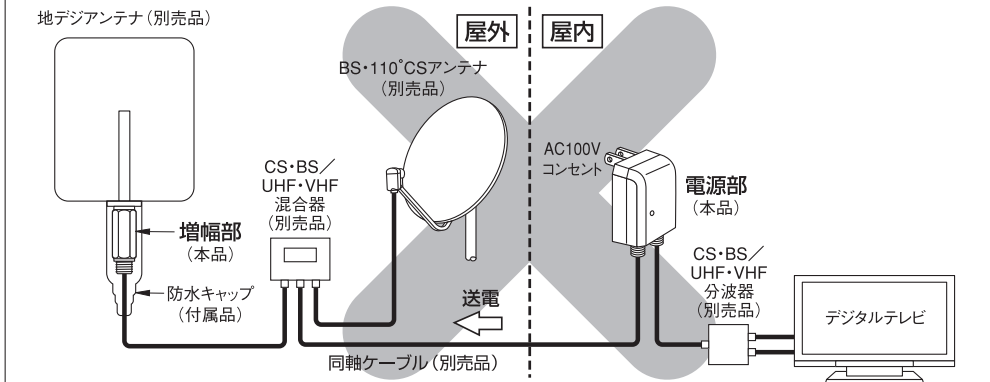
●使用例1〈地デジのみを受信する場合〉



●使用例2〈CS・BSと地デジを混合して受信する場合〉(電源部を使用)



●使用例3〈CS・BSと地デジを混合して受信する場合〉(電源部を使用しない)



設置方法

①防水キャップを同軸ケーブルの太さにカットする。あらかじめ同軸ケーブルに通し、F型接栓を取付けます。詳細は「同軸ケーブル加工方法とF型接栓の取付方法」をお読みください。

②増幅部を地デジアンテナの出力端子に接続します。ご使用の地デジアンテナの出力端子に増幅部の入力端子を接続します。
※F型接栓適正締付トルク：2N・m(約20kgf・cm)

③増幅部出力端子に同軸ケーブルを接続し、アンテナの出力端子に防水キャップをかぶせてください。

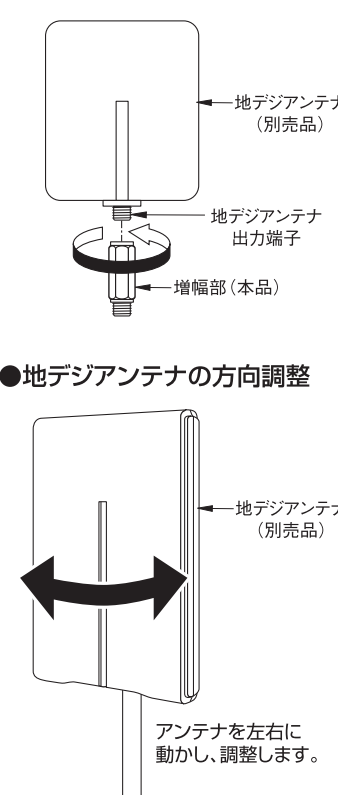
⚠注意

日本アンテナ製以外の地デジアンテナには防水キャップが合わない場合があります。その場合は防水補助テープ(別売品)をご使用ください。

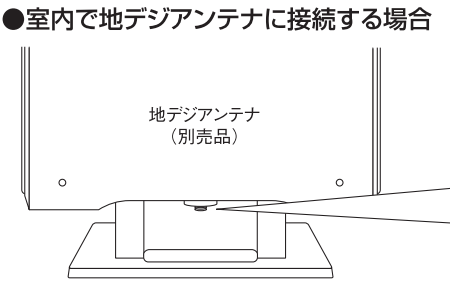
④電源部に同軸ケーブルを接続し、電源プラグをAC100Vコンセントに接続します。

⑤アンテナの向きを調整します。アンテナを動かしてデジタルテレビの受信レベルが最大になるようにアンテナの向きを調整してください。

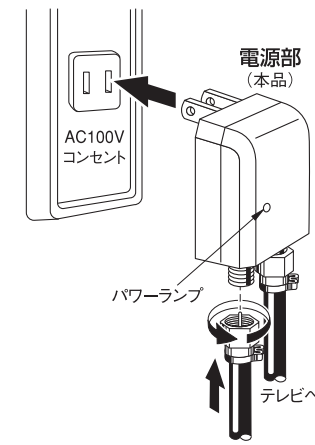
●地デジアンテナの方向調整



●室内で地デジアンテナに接続する場合



●電源部の接続方法



●L型プラグLP-Pを使用する場合、屋外では使用できません。
※室内スタンドを設置する場合、L型プラグLP-Pをご使用ください。

⚠注意

●電源部と増幅部の間で万一ショートしている場合、電源部保護回路が働き、ブースターは動作しません。ショートしている場合、パワーランプ電源は消灯します。電源部を電源コンセントから抜いて、配線などを点検してください。

●電源部の設置場所は風通しの良い、目の届く位置に設置してください。押入や天井裏などの見えない場所や、水のかかる所、湿気の多い所はさけてください。

●電源部の上には可燃性の物をのせないようにご注意ください。

●長時間ご使用にならないときは、電源部をコンセントから抜いておいてください。

ポイント

コネクタの接続は確実にこなってください。コネクタがゆるんでいると、風によるケーブルの振動などにより、コネクタがはずれることがあります。ケーブルは別売のインシュレーターでしっかり固定してください。

安全上の注意

絵表示について この「安全上の注意」、「取扱説明書」、「施工説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例		
	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。	
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。	
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。	

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないで、指定の固定方法で取付けてください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。また、同軸ケーブル重畳方式にて動作可能な機器は、表示された重畳電源を供給してください。その際は電源プラグをコンセントから抜いてご使用ください。

●本品に水が入ったり、本品の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

●万一、本品を落したり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●雷が鳴りだしたら、アンテナ線、機器には触れないでください。感電の原因となります。

●本品上面のカバーをはずしたり、改造したりしないでください。また、本品の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店工事業者にご依頼ください。

●万一、煙が出ている、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店工事業者に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●万一、異物が本品の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

●本品に水が入ったり、本品がぬれたりしないようにご注意ください。風呂場で使用したり、本品の上に薬品や水などの入った容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、雨天、降雨中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。ペットなどの生物が本品の上に乗らないようにご注意ください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。

●本品の開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。また、本品の上に小さな金属物（クギ、針、ヘアピン、クリップピンなど）を置かないでください。中に入った場合、火災・感電の原因となります。

注意

●お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて外部の接続コード（アンテナ線、機器間の接続コードなど）、はずしたことを確認の上、おこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●本品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●本品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
○本品を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
○テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。
○あお向けや横倒し、逆さまにする。

●旅行などで長期間、本品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかな布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●本品の取付工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
＊送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
＊CS、BS放送用受信アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取付・設置してください。

保証書

型名	UPA16K	製造番号	取説表面に記載
お客様様	お名前		
	ご住所	電話番号（ ）	
お買上げ日 年 月 日		取扱販売店名・住所・電話番号	
保証期間（お買上げ日より） 本体 1 年 （但し消耗品は除く）			

2. 保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
- ① 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
② お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
③ 火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
④ 海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
⑤ ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
⑥ 異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
⑦ 用途以外で使用した場合の故障および損傷。
⑧ 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
⑨ 消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
⑩ 日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
⑪ 本書のご提示がない場合。
⑫ 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
3. ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けにならない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
（This Warranty is valid only in Japan）
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

使用上の注意

- 本品は地上デジタル放送用（UHF）です。VHF、BS・CS放送にはご使用できません。
- 強電界地域や既にブースターを使用している場合、ビルなどの反射波や電波が混信している地域では十分な効果が得られない場合があります。
- 地デジアンテナの受信レベルが低いと、地上デジタル放送がまったく映らない場合があります。
- 本品は適正入力レベル以上の受信環境で使用すると過入力になり、テレビ受信をできない場合があります。このような場合、増幅部と電源部を取りはずして受信してください。
- 増幅部と電源部の間に混合器などを接続する場合は必ず電流通過型の機器をご使用ください。電流通過型以外の機器はご使用にならないでください。
- 増幅部と電源部の間でショートなどの異常があると過電流保護が働き、ブースターは動作しません。電源プラグを電源コンセントから抜いて、電源部と増幅部の間の配線などを点検してください。
- 入力端子・出力端子の配線は、接続例にしたがい確実におこなってください。
- 入力端子・出力端子のケーブルは束ねたり、本品に巻きつけないでください。
- ブースターの配線には同軸ケーブルをご使用ください。
- 作業中ケガをしないように、十分注意してください。
- 本品接続の際は、電源コンセントからはずして作業してください。
- 本品は少し温かくなりますが、これは電子部品の放熱作用によるもので本品の故障ではありません。
- プラスチック製のボックス内など、高温になる場所へは設置しないでください。
- 電源部は屋内用です。屋外での使用はできません。

接続時の注意

デジタル放送受信について

- 注1 ブースター設置後、テレビ画面が映らなかったり、画面上にブロックノイズ（モザイク状の雑音）が出る場合は、以下の項目をご確認（調整して）ください。
- ーテレビ（チューナー）への入力レベルが低い場合ー
 - 受信エリアをご確認ください。
 - アンテナの位置、方向および高さなどを変えて、最良の画像が得られるように調整してください。
 - ーテレビ（チューナー）への入力レベルが高い場合ー
 - 増幅部と電源部を取りはずして受信してください。

- 注2 デジタル放送受信は、所要C/Nが得られないと画面が映らなかったり、ブロックノイズ（モザイク状の雑音）が出る場合があります。

機器の接続について

- 注3 ブースター設置後、テレビ画面が映らない場合は、アンテナ給電部、入力・出力端子、分波器などの接続が確実におこなわれているか点検してください。また、同軸ケーブルのコネクター加工を点検してください。
- 注4 電源部と増幅部の間に電流通過型ではない分岐・分配器などが接続されていると、本品は正しく動作しません。電流通過型の分岐・分配器などをご使用ください。また、分岐・分配器などの電流通過端子に接続されているかご確認ください。

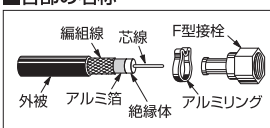
電源部について

- 注5 電源部を電源コンセントに差込んでもP.L（パワーランプ）が点灯しない場合は、電源部と増幅部の間でショートなどの異常が発生して過電流保護回路が動作しております。電源部を電源コンセントから抜いて電源部と増幅部の間の配線などを点検してください。
- 注6 電源部はこのブースター専用です。他の電源部を使用することはできません。
- 注7 電源部は少し温かくなりますが、これは電子部品の放熱作用によるもので異常ではありません。

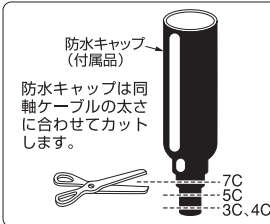
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■各部の名称



防水キャップ
防水キャップは同軸ケーブルの太さに合わせてカットします。



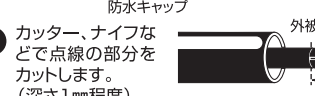
ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合は、きれいにとってください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

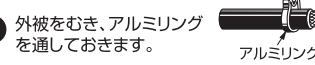
防水キャップは必ず先に同軸ケーブルに通してください。



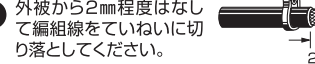
1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）



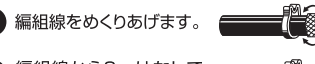
2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



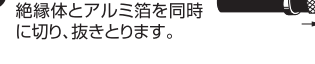
3 外被から2mm程度はなしで編組線をていねいに切り落としてください。



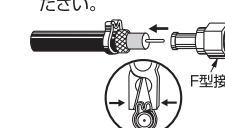
4 編組線をめくりあげます。



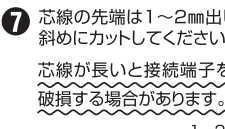
5 編組線から3mmはなしで絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。



6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



7 芯線の先端は1～2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい



注意
加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

お客様窓口	0570-091039 ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）	ナビダイヤルが利用できない場合は (03)3893-5243
-------	--	---------------------------------

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）
（ホームページアドレス）http://www.nippon-antenna.co.jp/
※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7101892 平成25年1月